

県民クラブ・代表質問 『大分県を元気にするために』



守 永 信 幸
(大分市)

人口減少への 対応について

大分県版地方創生

大分県の人口は1985年を境に減少を続けており、2020年の国勢調査の結果から、減少傾向は加速しています。人口減少に歯止めを掛け、将来に向けて大分県を発展させるためには、地方創生への取組について、任期最後の1年で真剣に議論しなければなりません。この1年地方創生にどのように取り組んでいくのが尋ねました。

広瀬知事は「人口減少に歯止めをかけ、人を育て、仕事をつくり、人と仕事の好循環で地域を活性化する大分県版地方創生を加速前進させる」として次のように語りました。

「男女の出会いの場を創り、

結婚から妊娠・出産、更には子育てまで切れ目のない支援に引き続き全力を傾ける。出会いの応援強化のために、AIが相性の良い相手を提案するマッチングシステムを導入。また、不妊治療についても保険が適用されない「先進医療」に県独自で助成し、子どもを望む方が治療を諦めることがないように支援する。

人の受け皿となる仕事づくりに、DX、デジタル革命の流れを捉え、ドローン、アバターなどの先端技術で地域課題の解決を図り、これら技術シーズ(種子)として新産業の創出やデジタル人材の育成につなげる。

更に世界的に成長する宇宙産業に着目し、ヴァージン・オービット社との提携に続き、米国のシエラスペース社等との間で、大分宇宙港の活用に向けたパートナーシップを締結した。これを弾みに、宇宙関連企業とのネットワークを広げ、アジアにおける宇宙ビジネスの拠点化をめざす。

県下全域で営まれる農林水

産業は、地域の隅々まで仕事を生み出す基幹産業であり、魅力ある産業へと成長させることで、新規就業者を呼び込む。

移住決断の大きな壁は、仕事と住まい。好調なIT分野のスキル習得から移住・就職までのワンストップ支援を、福祉・医療分野に拡充しつつ、空き家対策を抜本的に見直し、移住者のニーズに沿った空き家の探索や取得をサポートする。

「創生本部会議(市町村長がメンバー)」で知恵を出し合い、議論を重ねている。私(広瀬知事)と市町村長が互いに手を携えて、この難局を打破し、夢と希望あふれる大分県を実現する。

大分空港の 利用の在り方

県政発展のプロジェクトとして、知事が触れた宇宙港計画と併せて、空港・大分間のホーバークラフト再就航について、大分空港の利用者の増大を前提としたもので、見込みを誤ると、ホーバーの経営だけでなく、空港バスを運営するバス会社の経営や地域の営業路線の維持などに深刻な影響を与えかねないことを指

摘し、大分空港に人が集まる新たな利用のあり方を検討し、必要な施策を上乘せしていくべきと訴えました。

企画振興部長から、「大分空港アクセスは、陸路と海路の両ネットワークの安定的な維持が重要。空港の魅力を高め、利用者を増加させるために、県内の幅広い関係者とともに、大分空港の将来ビジョン策定に着手。陸・海・空、そして宇宙に繋がるドリームポートをおおいたの実現に向け、官印一体となり取組を押し進める」との回答がありました。

これら課題の外に、「県と大分市との連携の在り方」、「日出生台における米軍実弾射撃訓練等への対応」、「健康寿命日本一に向けた取組」、「南海トラフ地震臨時情報に関する県の対応」、「再生可能エネルギー等を活用したカーボンニュートラルへの取組」、「発達障がい児への早期支援の取組」、「県職員の確保と職場環境の充実」等について質問しました。



決議・意見書の採択状況 2022.第1回定例会

	県民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党	日大樹会	しんせい	志士の会	無所属	時の会	可・否
ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
手話言語法(仮称)の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
日米地位協定の見直しを求める意見書	○	×	○	○	×	×	×	×	×	可
女性や子どもの自殺防止対策の強化を求める意見書	○	×	×	○	○	○	×	×	×	否
医学部入学生定員削減の方向性を見直し、医療現場、地域医療の実態に即し、医師数をOECD平均以上の水準とするよう求める意見書	○	×	×	○	○	○	×	×	×	否